

# 母に歌う子守唄 ～わたしの介護日誌～

**講演者** 落合恵子 / 作家



さまざまな企画を地域の皆様にお届けしてきた研究所企画も13回目を迎えました。今回、淑徳大学社会福祉研究所では作家の落合恵子先生をお迎えします。「書く」だけでなく「行動する」社会派作家として多数の作品を発表し、またマスコミ等でもご活躍中の先生に、介護をテーマにお話いただきます。広く皆様のご参加をお待ちしております。

## ◆落合恵子先生プロフィール

1945年 栃木県生まれ。明治大学英米文学科卒業後、(株)文化放送に入社。アナウンサーを経て作家活動に入る。日本で初めて女性の側から性暴力を告発した小説『ザ・レイプ』を発表し、大反響を呼ぶ。家族の問題、社会的な問題、教育問題、環境問題などを、ただ単に批判するだけでなく、誰にとっても、わかりやすく考えられる「社会に共通な問題」にしていくことに努め、小説の形で表現し続ける。また、人権

問題に取り組んでいる海外の作家やジャーナリストとの交流も多く、女性問題や子どもの人権問題を世界に共通したテーマとしての視点から講演などの活動を積極的に展開。総合幼児保育雑誌「月刊クーヨン」発行人。有機食材レストラン「HOME」(東京店、大阪店)を運営し、食育を実践。東京家政大学人間文化研究所特任教授。

産経児童出版文化賞大賞、日本ジャーナリスト協会奨励賞、ギャラクシー奨励賞、日本婦人放送者懇談会賞等を受賞。

著書『人生案内…自分を育てる悩み方』『ぼくはぼくでいい』『絵本屋の日曜日』『母に歌う子守唄…わたしの介護日誌』『母に歌う子守唄その後 わたしの介護日誌』『崖っぷちに立つ あなたに(生き急ぐなりに)』など多数。また、「積極的その日暮らし」「絵本処方箋」「母に歌う子守唄 わたしの介護日誌」「今日の視点」など、新聞、雑誌での連載も多数。

## ◆プログラム

### 講演

ご自身の介護体験をもとに現代社会が抱える介護問題や介護の中心を担う女性と福祉についてお話いただきます。高齢者や女性、子どもなど、社会構造的に小さい側に寄り添った作品を多く発表されてきた落合恵子先生の説得力あるお話にご期待ください。

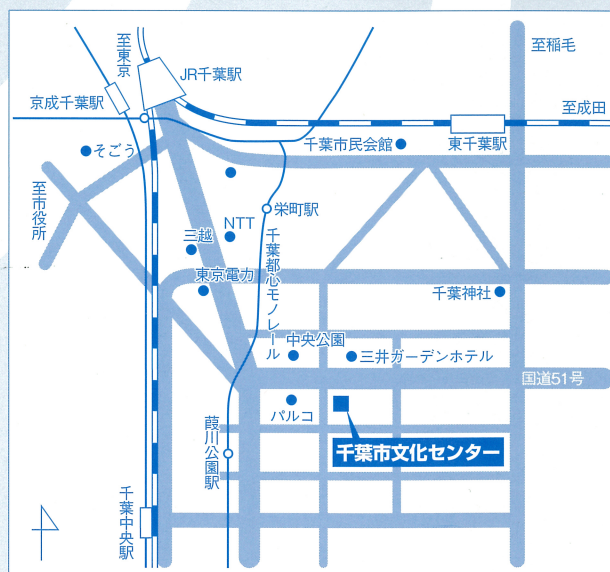
**日時** 平成21年7月5日(日)  
14時～15時30分(開場 13時30分)

**場所** 千葉市文化センター3階 アートホール  
JR「千葉」駅下車 徒歩10分  
京成「千葉中央」駅下車 徒歩10分  
千葉都市モノレール「葭川公園」駅下車 徒歩3分  
電話 043-224-8211

**定員** 500人

**後援** 千葉市保健福祉局

**申込方法** 6月15日(月)(必着)までに、官製ハガキに住所、氏名、電話番号を明記して郵送してください。  
1枚で最大2名まで応募可。2名希望の場合は、必ず希望者2名の名前を明記のこと。  
応募者多数の場合は、抽選となります。



申込先・問合せ先 〒260-8701 千葉市中央区大巖寺町200 淑徳大学社会福祉研究所 総合福祉研究室  
電話 火・木・金 043-265-7377(直通)